

真岡から世界の舞台へ！



真岡市出身で、サッカーワールドカップ2022カタール大会（以下、W杯）終了までの2年間、日本代表チームのコーチを務めた上野優作さんが1月4日（水）、石坂市長を表敬訪問した際、インタビューに応じてくれました。

森保ジャパンのベスト16に貢献

—— W杯期間中、日本中が熱狂していましたが、現地カタールに声援は届いていましたか？

【上野氏】 テレビを見る時間などはありませんでしたが、「ユニホームが完売した」「渋谷の交差点が大変なことになっている」などの情報は入ってきました。帰国してから取材を受けたり、多くの方からねぎらいの言葉をいただいたりして、改めてW杯のすごさを実感した部分もあります。

—— 大会を振り返ってみての感想は？

目標だったベスト8に進めず、残念で悔しい気持ちが強いです。一方で、日本の選手が世界を相手に十分戦えることを伝えられたと思います。

—— 強豪のドイツ、スペインを破る快進撃でしたが、勝てた要因は？

しっかりとゲームプランを立てて、チーム一丸となってそれを実行できたことですね。森保監督の指示通り、前半リードされるのも想定内で、後半にチャンスを狙うプランが功を奏しました。スペイン戦も勝つしかない状況でしたが、「普段通りプレーすれば勝てる」と全員の意思統一ができていました。また、試合に出られない選手が、精力的にレギュラー組の練習相手を努めたり、若手選手の相談に乗ったり、チームの雰囲気も良かったですね。

—— W杯におけるコーチとしての役割と、大会中で印象に残ったシーンを教えてください。

コーチングスタッフは監督を含め10人体制でしたが、自分の主な役割は攻撃を担当する横内コーチのサポートでした。それから攻撃面のセットプレーです。クロアチア戦でコーナーキックから前田大然選手が決めた先制点

は、練習の成果が出たゴールシーンだったと思います。

FC岐阜・上野新監督に注目！

—— 今年はJ3のFC岐阜の監督に就任されますが、どんなチームにしたいですか？

監督としては初挑戦となります。代表チームで学んだことなど、これまでの経験を生かしながら、一体感を持って戦えるチームを作りたいと思います。まずは、今シーズンで結果を出して、J2に昇格することが目標です。

—— 現役時代、昇格請負人として活躍した上野さんへの期待は大きいと思います。

J2に昇格すれば、栃木SCとの対戦があり、栃木県でも試合ができますので、ぜひ実現したいですね。

—— 私たちも楽しみにしています。最後に、真岡市民の皆さんへ一言お願いします。

真岡は自分がサッカーを始めて、さまざまな人にお世話になり、今ある自分の基礎を育ててもらった街です。昨年、「真岡市アンバサダー」にも就任させていただいたところですので、真岡市の代表であることを忘れずに、また、機会があれば地元に戻って、何らかの形で恩返ししたいと考えています。

—— 本日はありがとうございました。

ありがとうございました。これからも応援よろしくお願いたします。



いただいたサイン入りグッズは本庁舎1階ロビーに展示中



現役時代の上野選手（県グリーンスタジアム、2008年）



スポーツ交流館で行われたサッカー教室（2008年）



本年1月2日、OBとして真岡高校サッカー部の蹴り初めに参加（前列中央左が上野さん）

上野優作さんのサッカー経歴

- 昭和 56 (1981)年 真岡西小 2年 サッカーを始める
- 昭和 61 (1986)年 亀山小(1期生)卒業、真岡中学校へ
ポジションはフォワード (FW)
- 平成 3 (1991)年 真岡高校サッカー部主将として
全国高校サッカー選手権に出場
- 平成 7 (1995)年 ユニバーシアード福岡大会で優勝
(筑波大学在学中に日本代表選出)
- 平成 8 (1996)年 J1 アビスパ福岡へ入団
主力FWとしてJ2降格の危機を救う
- 平成 12 (2000)年 J1 サンフレッチェ広島へ移籍
- 平成 13 (2001)年 J2 京都パープルサンガへ移籍
松井大輔らとともにJ1昇格に貢献
- 平成 15 (2003)年 J2 アルビレックス新潟へ移籍
年間13得点でJ1昇格に貢献
- 平成 19 (2007)年 JFL 栃木SCへ移籍
翌年J2に昇格させ現役を引退
- 平成 22 (2010)年 栃木SC コーチ就任
JFA公認S級コーチ合格
- 平成 24 (2012)年 栃木SC ヘッドコーチ就任
- 平成 27 (2015)年 J1 浦和コーチ就任
- 令和 元 (2019)年 浦和トップチームヘッドコーチ就任
- 令和 3 (2021)年 森保ジャパン代表コーチ就任
- 令和 5 (2023)年 FC岐阜(J3)監督就任